

令和7年度 災害時訓練（フォーム入力）の結果

《入力数》

支 部：兵庫県看護協会の地域区分

ブロック：兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の地域区分

支部	ブロック	入力数	市区町	入力数
但馬	但馬	3	朝来市	1
			豊岡市	2
阪神北	丹波	5	三田市	2
			丹波市	3
	阪神北	0	———	0
阪神南	阪神南	6	芦屋市	2
			西宮市	4
神戸東部	神戸	4	神戸市東灘区	2
			神戸市灘区	2
神戸中部		3	神戸市中央区	1
			神戸市北区	2
神戸西部		6	神戸市須磨区	6
西播	中播磨	2	姫路市	2
	西播磨	14	上郡町	3
			佐用町	1
			たつの市	2
			宍粟市	5
			太子町	1
			赤穂市	1
			相生市	1
東播	東播磨	12	加古川市	7
			明石市	3
			高砂市	2
	淡路	1	南あわじ市	1
北播磨	北播磨	3	加西市	1
			西脇市	2

《感想・意見》

入力について

- ・入力しやすい。
- ・入力は問題ない。
- ・入力は簡易なもので分かりやすかった。
- ・入力が簡単で報告しやすい。
- ・一部のスタッフに、入力箇所がわかりにくく、できないとの発言があった。
- ・メールアドレスを入れるのに時間がかかった。
- ・メールアドレスは、「有事にサッと入力できるようにしておかないと」と思った。
- ・質問内容が具体的にないと回答しやすい。
- ・答えは、ある程度選択できると良いと思った。
- ・ある程度想定される選択肢があると入力しやすいし、集計もしやすいかと思う。
- ・有事は焦っていると思うので、電話番号など3つではなく1つにまとめられたらよい。
- ・状況について、災害時どこまで入力すべきか悩んだ。
- ・被害が大きい時に、被害状況が入力できるか不安。
- ・これで良いのかわからず悩んだ。

項目について

- ・個人の登録で、看護面で地域で困っていること・必要な支援を求めるのはおかしくないか。事業所単位で困っていることは拾い上げてもらえないのか。
- ・個人名より、事業所名の入力の方がいいかと思った。
- ・個人情報の入力は抵抗がある。
→ 必須項目は、地域と被害状況のみです。
他の項目は必須ではありませんので、空欄のままお送りいただけます。
今回入力していただいた個人情報は、すべて削除しています。
- ・有事は、個人情報同意を外して差し支えないかもしれない。画面の遷移回数を極力減らすことで回収率が上がると良いのではないかと思った。
- ・項目が絞られているのが良いと思う。

LINE の使用について

- ・災害時の通信手段としては、FAX より LINE の方が簡易で安定していると思う。
- ・事業所の携帯電話は LINE を登録できない。個人携帯でしかできず、LINE の活用が事業所によってはハードルがあるのでは…と思う。
- ・LINE では個人になってしまうので、何とかしてほしい。
- ・使い慣れた LINE での操作で、情報共有できる。
- ・電波状況が悪くなれば送信できないかもしれないが、SOS を発信できる先があるのは心強い。
- ・電話や FAX が使えない時には便利だと思う。
- ・イチ連絡手段が確保できて嬉しい。

訓練について

- ・漠然としすぎているので、震源の場所、震度などを設定してもらった上での被害状況を報告などにしてもらった方が想定しやすい。これだと、そちらの訓練にはなと思うが、ステーションの訓練になりにくいと感じた。

- ・災害の種別を決めてもらい、シミュレーションしたほうがイメージしやすかった。
- ・状況の想定が難しいと感じた。
- ・具体例の設定があればよいと思う。
- ・日頃から訓練をしておくことで、いざというときに役立つ。平時から体制を構築・検証しておくことは大切だと思う。
- ・とても大事な訓練だと思う。孤立しないよう協力体制が構築できれば心強い。
- ・BCP 訓練の一貫と思い行った。
- ・被害状況、スタッフや家族の安否確認、勤務可能な状況によるが、スタッフが 50 名以上在籍しているので協力し合える所は助け合い、災害、救助に備えたいと考えている。
- ・事前に作成している災害カードに沿って、自分の受け持ち利用者の連絡が取れるかシミュレーションをした。
- ・災害時に連絡手段としての問い合わせの練習になる。
- ・もしもの時に備えてシミュレーションすることは大切だと思う。
- ・事務所全員で災害についてシミュレーションすることで、災害に対して意識して取り組むことができた。
- ・定期的にしてもらえるといい。
- ・今後も定期的にシミュレーションしてほしい。
- ・定期的な訓練が必要と思う。
- ・災害時に活用できるように検討する。
- ・171 は初めて利用体験してみた。
- ・試すことができてよかった。
- ・スタッフにも支援センターと LINE 友達になってもらい、災害時に入力することを説明した。
- ・災害時の体制を職場で再度考える機会となり良かった。
- ・災害時に地域で状況共有できると良いなと思う。
- ・どのような災害設定かによって被災状況や支援依頼内容は大きく変わると思う。支援内容にどのような内容を記載するのかわかりづらいと感じた。災害状況の想定に迷った。

その他

- ・実際の災害時に本当に使えるかは不安がある。
- ・実際の災害時に入力している余裕があるか不安。
- ・必要な支援を依頼した後はどのような流れになるのか知りたい。
- ・このデータは、どのように把握され、こちらにも何かしらの、返答が来るのか。他にも報告なり、依頼がある時は、このフォームを使うのか。
- ・災害状況の想定に迷ったし、必要な支援を精査するのに現実は何のくらいの時間を要するのだろうと、少し不安になった。
- ・安否確認で、支援が必要な利用者がいた場合の事業所での救出が困難な状況での通報連絡先の確認が必要。
- ・こうしたものができたことは大きな前進と思う。
- ・災害時にも活用できるものにしたい。
- ・これを使用することで、支援が早くなるのならありがたいと思う。
- ・実際なってみないとなかなかイメージしづらい。
- ・必要な支援を入力する項目があるが、支援までにどのくらいの時間を想定しているのか。どういう形で支援体制を整えるのか。